わくわく調査船2005
プロジェクト報告会
今年のテーマ
『瀬戸内の歴史・文化に蛇をとれ！』

主催：

わくわく調査船プロジェクト２００５実行委員会実行委員長　井上欣三（神戸大学 海事科学部教授）

後援：

国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、
国土交通省近畿運輸監理部、神戸大学海事科学部、
神戸大学発達科学部、大阪市、神戸市、
瀬戸内海海の路ネットワーク推進協議会、神戸港振興協会、
神戸海事広報協会、大阪湾ベイエリア開発推進機構

昨年、（社）日本港湾協会企画賞を受賞した「わくわく調査船プロジェクト２００４」に引き続き、平成１７年度も国土交通省近畿地方整備局の資金援助を得て「わくわく調査船プロジェクト２００５」がスタートしました。既に予定の日程どおりプロジェクトは進行していますが、この度、１１月２０日１４時より、神戸大学海事科学部・総合学術交流棟１階コンファレンスホールにて、中学生がまとめた調査結果を社会に発信する「わくわく調査船プロジェクト２００５」報告会が実施されました。今年度のテーマは、「歴史、文化」を切り口に神戸港と高松港を調査するものでした。

【既に進行したプログラム】

7月２３日（土）	事前オリエンテーション（海事科学部）
8月　３日（水）	海事科学部→神戸港中突堤（神戸港調査）
8月　４日（木）	神戸港→高松港（高松港調査）
8月　５日（金）	高松港→小豆島（瀬戸内海船乗り体験）
8月　６日（土）	小豆島→海事科学部（船内発表会）

当日は、中学生の調査隊員に加え、ご家族、一般の参加者が
多数参加し、１００人収容のコンファレンスホールがいっぱいに なる盛況ぶりでした。

プログラムは、「わくわく調査船プロジェクト」企画委員長（神戸大学海事科学部、井上欣三教授）の挨拶に続き、今年の調査航海の模様がＶＴＲで紹介され、隊員によるグループ毎の発表 と質問が行われました

グループ活動のテーマ

グループＡ（マリンブルーグループ）は、船の修理ドックや石油基地の調査を通じて、産業活動と港と

グループＢ（クリーンワールドグループ）は、ハーバーランドやサンポートなどの観光基地の調査を通

グループＣ（海人ルーグループ）は、神戸空港島やＪＲ高松駅、鉄道連絡船などの調査を通じて、交通

グループＤ（グルメデラックスグループ）は、洋菓子会社と讃岐うどん工場などの調査を通じて、食と

グループＥ（和田金比羅遊歩人グループ）は、和田神社と金刀比羅宮の調査を通じて、信仰と港と船、

質疑応答では、参加した一般の方々から中学生の隊員達に多くの意見や質問が行われ、隊員達は一生懸命に考えて答えていたのが印象的でした。

来年度も継続して「わくわく調査船プロジェクト」が実施されることを確認して、今回の報告会は散会しました。

{gallery}/sousenob/domestic_activities/2005/wakuwaku_2005/related/paper{/gallery}